

## 広域ごみ・汚泥処理施設整備事業の概要

1 施設名称：(仮称) 北但クリーンセンター、北但リサイクルセンター

2 施設の概要：下表の通り

施設の種類	施設概要	
エネルギー回収推進施設 (熱回収施設)	処理対象	①燃やすごみ ②リサイクルセンターからの可燃残渣 ③下水道等の汚泥
	施設規模	174t/日 (87t/日・炉×2 炉)  ※全量焼却した場合の公設公営での施設規模
	処理方式	連続運転式 (24 時間連続運転)
マテリアルリサイクル推進施設 (リサイクルセンター)	処理対象	①燃やさないごみ ②粗大ごみ ③資源ごみ ビン、カン、ペットボトル、紙製容器包装、 プラスチック製容器包装、蛍光管、乾電池、 新聞・雑誌・OA 用紙、紙パック、段ボール  ※新温泉町の資源ごみ (蛍光管・乾電池除く) は、新温泉町リサイクルセンター (現有施設) で対応
	施設規模	37t/日
	処理方式	選別、圧縮、梱包、保管

3 決定事項

- ・ 新温泉町では新温泉町リサイクルセンターを新施設稼働後も活用。
- ・ 事業方式は公設民営方式で実施する方針を決定。
- ・ 焼却灰・ばいじんは (財) 兵庫県環境クリエイトセンターに熔融処理委託する方針を決定。そのため、エネルギー回収推進施設に熔融設備は整備しない。

4 建設地：未定

5 事業スケジュール

平成 18～19 年度	生活環境影響調査，都市計画決定等
平成 19～21 年度	施設整備・事業者選定
平成 21～24 年度	建設工事
平成 25 年度～	施設稼働

6 総事業費：約 10,430 百万円 (用地取得費、造成費、進入道路費等除く)

■エネルギー回収推進施設

種類	概要
熱回収施設	<p>廃棄物を焼却して蒸気エネルギーを回収し，発電等の余熱利用を行う施設</p> <p>①廃棄物を焼却する施設（ごみ焼却施設） ②廃棄物を熱分解した後，発生するガスを燃焼又は回収する施設（ガス化熔融施設）</p>
高効率原燃料回収施設	<p>バイオガス（メタンガス等）の回収に適した廃棄物を微生物により嫌気性分解し，メタン等のバイオガスを回収する施設</p>

■マテリアルリサイクル推進施設

種類	概要
リサイクルセンター	<p>廃棄物の選別等を行い，資源化を進める施設</p>